

協議会ニュース 123号

愛知県自然観察指導員連絡協議会 2009. 3



タマネギとニンニク：山田絹子（知多支部）

総会&講演会P2
支部だより	
尾張支部総会P4
西三河支部総会	三田孝.....P4
桜濠公園観察会	神戸敦.....P5
調査報告	吉田彰.....P6
会員のページ	
ニューカレドニアの自然を感じて(2)	吉川洋行.....P8
協議会の情報提供とメールリスト	雷竹善行.....P9
東三河の野生哺乳類	神戸敦.....P10
理事会記録P11
編集部P12

= 平成 21 年度 通常総会 =

日時 平成 21 年 3 月 20 日 (金・春分の日)

場所 なごやボランティア NPO センター (伏見ライフプラザ 12 階)

愛知県自然観察指導員連絡協議会総会を開催します。年に一度、会員が一同に集う会です。日頃なかなか出会えない会員と出会うことのできるこの機会に、是非ご参加ください。

■総会当日は ①同封の総会資料 ②名札 ③マイカップをご持参下さい。

12:40 受付開始

13:00 総会開会宣言

1)総会参加者数の報告

2)平成 20 年度の協議会各理事紹介

会長: 松尾 初 副会長: 降幡 光宏 事務局: 浅井 聡司 石田 晴子

大谷 敏和 近藤 記巳子 斎竹 善行 高橋 康夫 永田 孝 布目 均

山田 博一 吉川 洋行 吉田 彰

小山 舜二 梶野 保光 滝田 久憲 降幡 光宏 三田 孝 樋口 祐子

監事: 山下 眞志、榊原 靖 (以上理事 18 名、監事 2 名)

3)会長挨拶

4)総会議長、書記係の選出

13:20

5)平成 21 年度通常総会

①第 1 号議案 平成 20 年度事業報告

②第 2 号議案 平成 20 年度決算報告及び監査報告

③第 3 号議案 平成 21 年度事業計画 (案)

④第 4 号議案 平成 21 年度予算 (案)

⑤略称の決定

⑥要望事項・質疑応答

14:50 総会終了宣言

～～ 休憩 ～～

15:00 講演会

「五感を駆使した自然観察入門」

岐阜大学准教授 川窪伸光氏

16:00 質疑応答

16:20 閉会・後片付け

16:30 会場撤収

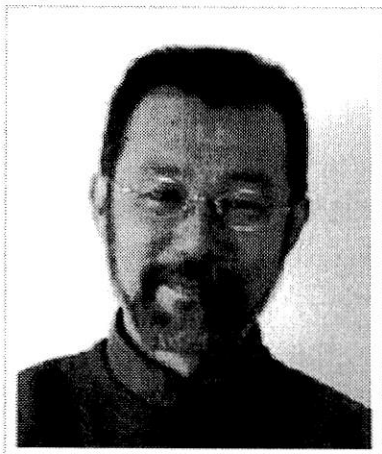
17:00～19:00 希望者にて懇親会
会費: 未定



■なごやボランティア NPO センター
(伏見ライフプラザ 12 階)

■地下鉄「伏見」駅 6 番出口より徒歩 6 分

講演会の講師 紹介



川窪伸光先生

現在、岐阜大学応用生物学準教授で、専門分野は、植物繁殖生態学です。

生物多様性の理解と保全を目指して、さまざまな野生植物の繁殖様式の解明や、その繁殖に関する野生動物の生態を明らかにし、その進化の機構を探求されています。

「アカメガシワの葉には蜜線がある。その蜜線を訪れる昆虫は何か。予想では“アリ”、そしてアリは葉を食害する昆虫を攻撃している。しかし、実際には多様であり、肉食性であるクモ類まで蜜をなめにやってきている。次に、アカメガシワ一株でのアリの出入りを把握してみたところ、木に登るアリはのべ数千個体、しかし、降りてくるアリは同じではなくかなり少ない。

アリは仕事の途中で事故にあって、15分に1個体が遭難するか、あるいは行方不明になるようだ。」という研究をしておられます。

また、教育活動として、生物多様性、生物の保全、フィールドワークなどについての講義もされ、生態系の保全や稀少生物の保護、自然観察の指導方法に関する相談にも応じられています。

そんな先生が、今回、所属する生態学会のシンポジウムを断ってまで、この総会でお話をしてくださいます！

題して「五感を駆使した自然観察入門」

先生は植物分類を研究する中で、植物分類は「五感を駆使して行う」ことが有効なことに気づかれ、これを自然観察に応用すると目から鱗が落ちることを実感されたそうです。

この観察方法を、会員のみなさんに伝授したいとの思いで語られます。

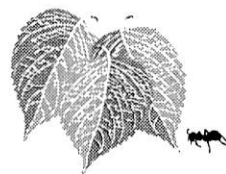
講演の主旨は、**視覚**：大根の側根は何列？

触覚：木肌を手で触ってわかること

聴覚：たたくと奏でる木のひびき♪

嗅覚：植物の香りと香水の香り

味覚：あっと驚くサプライズ！



(文責 浅井聡司)

興味を持たれた方は、川窪伸光先生のホームページ

<http://www1.gifu-u.ac.jp/~kawakubo/top.htm> へアクセスしてみてください。

特に静なる草木たちの躍動、**Flower Visitors**：訪花者たちは、一見の価値があります。

尾 張 支 部

日 時：平成21年1月12日（月） 13：30～17：00

場 所：東桜会館（名古屋市東区）

平成21年度の支部総会は20名が参加、各定例観察会の担当者からの事業報告、決算、21年度の役員選出に続き、事業計画、予算などが話し合われました。今年度、協議会で取組む「あいちの自然観察会」は、秋に「春日井少年自然の家」で実施することに決まりました。ここなら雨が降っても施設を使ってプログラムが実行できるという利点があります。

今年度の役員は次のみなさんに決まりました。（敬称略）

会長：樋口祐子、副会長：大谷敏和、会計：山口昌宏、監査：上等トシ、事務局：山田博一

昨年度の決算では予備費を切り崩して対応したように会の財政状況が厳しいことから、支部会費の値上げ、受託観察会を担当した指導員の謝金を交通費として一律1000円の支給に変更、尾張支部の通信のメール配信の促進、受託事業や本・グッズの販売など会費以外の収入の模索などが議論され、この点については今後運営委員会で検討していく事となりました。

（支部通信から要約）

西 三 河 支 部

西三河支部 三田 孝

日 時：平成21年2月7日（土） 14：00～17：00

場 所：岡崎竜美ヶ丘会館

平成21年度の支部総会は会員17名の参加を得て開かれました。平成20年度行事報告、会計報告のあと、平成21年度役員の選出、活動計画の検討を行いました。役員はほぼ留任（会長 三田、副会長 奥居、事務局 深見）です。広報に石川さんが加わりホームページの全面改訂を担当します。

新年度の観察会については支部定例観察会（同一場所で行う観察会）を廃止し、支部主催観察会に統一しました。4月六所山（豊田）、5月段戸裏谷（設楽町）、6月若林（豊田）、7月北山湿地（岡崎）、8月佐久島（一色）、10月古川公園（西尾）、11月王滝溪谷（豊田）、1月秋葉公園（安城）の8回を企画しました。地域定例観察会は従来の観察会（境川、くらがり溪谷、おかざき自然体験の森、岡崎中央総合公園自然観察の里、平戸橋）に加え、豊田若林での観察会が新しく立ち上がります。会員研修会は10月に伊良湖岬での実施が承認され、桑谷山荘付近での研修会も日時未定ながら予定しています。

なお、ホームページのURLが近日中に変更になりますのでご注意ください。

旧ホームページ www.mita.2y.net/nature/nishimikawa

新ホームページ www.nishimikawa.com

桜淵自然観察会

奥三河支部 神戸 敦

奥三河支部は2008年に、桜淵を舞台に3回シリーズで自然観察会を開催しました。桜淵は新城市有数の名所ではありますが、面ノ木原生林など有名な場所以外はなかなか参加者が集まらない当地方の実情からすれば、心配な企画でした。ポスターやチラシをつくり、新城市の後援をもらい、マスコミにも宣伝をお願いしての開催でした。

第1回は4月13日(日)に行いました。豊川河畔林の観察(下写真)と近くのうでこき山の自然観察がメニューでした。最初なので参加者を心配しましたが、指導員を含め27名の参加でほっとしました。



第2回は7月20日(日)で暑い日でした。そのことを想定して、①左岸の涼しい鍾乳洞内の観察、②和船をチャーターして河岸の植物や地形を観察しました。特に、蜂の巣岩は何故、そのように呼ばれるか間近で観察することで分かってい

ただきました(下写真)。この回は事故のないように配慮し、参加者に定員を設け事前申込み制にしました。参加者は指導員含め33名でした。



第3回は11月30日(日)で豊川右岸の中央構造線を観察し、新城小学校でイチョウ・ケヤキ・ハナノキなどの巨木観察、そして新城城址やしろあと資料館を校長先生に案内していただきました。特に、地元の方でも新城の城跡は初めて見るという方も多く、変化に富んだ内容の観察会で好評でした。参加者は指導員を含め21名でした。

3回を実施し、①奥三河でも工夫すれば参加者は増やせると見通しがついたこと、②下見で会員が意見を出し合い観察会のイメージを共有し本番に臨むことが大切、③すべての会員が仕事を分担することが会の活性化につながる、ということを感じました。

スクミリンゴガイ（ジャンボタニシ）の棲息調査報告

調査担当 吉田 彰



スクミリンゴガイ

2008 年度の調査事業として実施しました「スクミリンゴガイ(ジャンボタニシ)棲息調査」について、40 グループ延べ 48 人の方の協力をいただき、感謝申し上げます。

また、支部をあげて調査いただいた知多支部(22 グループ・30 人)や尾張支部、個人として 85 か所の調査ポイントを確認させていただいた尾張支部の斎竹さんには頭が下がる思いです。特に斎竹さんの調査報告は、自然環境保全基礎調査用メッシュ地形図をもとにメッシュ内をほぼ完璧に調べられるというものでとても参考になりました。

やはり外来種問題というのは一般の方にも関心が高いのでしょうか、会員外の 6 名(うち 1 名は県外在住)の方からも報告をいただきました。

さて、調査結果ですが、合計 304 か所(愛知県内：295 か所、岐阜県：9 か所)の状況をお寄せいただきました。調査いただきました愛知県内の市町村数は 32 市町(22 市 10 町)で、現在の市町村数(61 市町村)の約半数から調査報告をいただきました。

この 304 か所の調査報告のうち、スクミリンゴガイが確認できたのは 130 か所、確認できなかった場所は 174 か所でした。また、確認された 130 か所の全てで卵塊を確認しており、45 か所は成貝も確認しています。

意外といっては申し訳ありませんが、未確認の情報が多く寄せられたことに驚いています。これも知多支部や斎竹さんを始め真剣に調査に取り組んでいただいた方が多くおられた証だと思っています

スクミリンゴガイが確認された場所は、水田 93 か所、水路(用・排水路)54 か所でした。一方確認できなかった場所では、水田 115 か所、水路 46 か所、川 37 か所と続きます。この結果から、川のような流れの速い場所は、あまり棲息に適していないように思われます。

さらに、確認率の高い市町ですが、5 か所以上の報告のあった市町では、一宮市・豊川市・田原市が 100%。岩倉市・大口町・北名古屋市・西尾市・江南市・豊橋市・一色町と続き、いずれも確認率は 50%以上でした。

一方で、瀬戸市・半田市・春日井市・豊田市・常滑市・新城市・大府市・長久手町・豊山町・南知多町・武豊町では全く確認されませんでした。

今回、スクミリンゴガイの調査を通じ、実際に自分がこの目で見て感じたことですが、ちょうど私の住む安城市はスクミリンゴガイの生息域の境界線上にあり、油ヶ淵を中心とした南側での棲息が確認されていますが、北部から豊田市においては全く棲

愛知県自然観察指導員連絡協議会 平成21年度 通常総会

日時 平成21年3月20日(金・祝)

場所 なごやボランティア・NPOセンター

総会にお持ち
下さい

総会スケジュール

12:40 受付開始

13:00 開会

1)総会参加者数の報告

2)平成20年度役員・理事紹介

3)会長挨拶

4)総会議長、書記の選出

5)議案審議等

①第1号議案 平成20年度事業報告

②第2号議案 平成20年度決算・監査報告

③第3号議案 平成21年度事業計画(案)

④第4号議案 平成21年度予算(案)

⑤略称の決定

⑥要望事項・質疑応答

14:50 閉会

第1号議案 平成20年度事業報告

1. 自然観察会 あいちの自然観察会

日	時	テ	マ	場所	参加者	会員	担当
5月11日(日)	10:00~15:00	『新緑の裏谷を訪ねて』		段戸裏谷(北設楽郡田峯字段戸1)	12	10	奥三河
5月25日(日)	9:30~14:00	『海上の森でビンゴ』		海上の森(瀬戸市)悪天候で中止	0	5	尾張
6月1日(日)	9:30~12:00	『アシ原にわたる初夏の風を感じよう「豊川放水路のいきものたち」』		豊川市行明町 豊川放水路分流域周辺(豊川放水路取り入れ口園地)	25	17	東三河
6月14日(土)	9:00~12:00	『里山の生きもの』		名古屋市名東区猪高緑地	27	10	名古屋
6月21日(土)	9:30~12:00	『海辺の生き物』		美浜町野間富具崎	9	7	知多
8月2日(土)	9:30~12:00	『田んぼとため池の観察』		豊田市自然観察の森	13		西三河

2. 研修会

参加者

△5/18(日)『海岸の生物』(富具崎海岸) 知多支部

△6/8(日)『シダの研修』可児やすらぎの森 講師 村瀬正成(生科学総研株式会社所長) 会員10名

△7/19(土)『海岸植物と磯の生き物の研修』佐久島 講師 岡田速、伴幸成(協議会会員) 会員13名

△8/31(日)『御池沼沢植物群落』四日市市 講師 石川勝彦(よっかいち緑の会代表) 会員15名

△10/5(日)大原調整池 新城市 講師 会員有志 50名

△10/26(日)山地帯の植物の研修 長野県平谷村蛇峠 講師 神戸、熊谷 会員13名

3. その他

■通常総会 3/21(木祝) 午前 クラフト実演 クラフト、写真、スケッチの展示および即売

午後 総会 講演会『地球温暖化について』講師 大和田道雄(愛知教育大学教授)

■フォローアップ研修 「自然観察会でのリスクマネジメント」9/13~14(土・日)

場所:犬山国際ユースホステル 講師:佐藤仁志(島根県自然観察指導員協議会会長) 参加者23名

■調査 ◎スクミリンゴガイ(ジャンボタニシ)の調査 ◎カシノナガキクイムシの調査

■理事会 4/12 豊田(西三河) 6/22 大府(知多) 8/24 春日井(名古屋) 10/19 国府(東三河)

11/30 新城(奥三河) 2/11 名古屋市中区(名古屋)

■機関誌の発行 118号(08.5)、119号(08.07)、120号(08.09)、121号(08.11)122号(09.01)123号(09.03)

■海上の森のハンドブック(冬編) 愛知県森林保全課委託

第2号議案 平成20年度決算・監査報告

収入

(単位：円)

科目	予算額	決算額	決算—予算 (差引)	決算／予算 (%)	備考
会費	1,070,000	1,014,500	△ 55,500	95%	会員344(うち家族7)名分
負担金	120,000	138,720	18,720	116%	保険料(観察会徴収分：@40円×3,468人)
寄付金	1,000	93,250	92,250	9325%	カンパ
受託金	315,000	315,000	0	100%	愛知県森林保全課「海上の森ハンドブック」作成
雑収入	7,026	775	△ 6,251	11%	利息
前期繰越金	436,974	436,974	0	100%	
合計	1,950,000	1,999,219	49,219	103%	

支出

(単位：円)

科目	予算額	決算額	決算—予算 (差引)	決算／予算 (%)	備考
自然観察会費	300,000	201,670	△98,330	67	保険料等
調査費	70,000	25,876	△44,124	37	スミリンゴガイ資料印刷
研修費	100,000	45,472	△54,528	45	講師謝金、会場費
機関誌作成費	530,000	370,022	△159,978	70	印刷代、送料、封筒代、タックシール等
受託事業費	315,000	315,000	0	100	「海上の森ハンドブック」作成取材費、執筆料等
事務費	325,000	271,615	△68,385	79	総会開催費、理事会費、HP運営費、受託成果品印刷等
次期繰越金	310,000	769,564	474,564	253	
合計	1,950,000	1,999,219	49,219	103	

平成20年度収支決算報告について、決算報告書並びに通帳、会計帳簿、支払い等証拠書類を監査したところ、いずれも正確で事実と相違なかったことを報告します。

平成21年2月11日

愛知県自然観察指導員連絡協議会

監事

山下真志

榊原靖

第3号議案 平成21年度事業計画

1 あいちの自然観察会

日	時	テ ー マ	場 所	担 当
5月9日(土)	9:30~	『新緑の茶臼山高原』	茶臼山(設楽町)	奥三河支部
6月7日(日)	9:30~	『海の生き物』	富具崎港(美浜町)	知多支部
6月14日(日)	10:00~12:00	『樹木博士になろう』	鶴舞公園(名古屋市昭和区)	名古屋支部
7月11日(土)	9:00~	『湿地の生き物たち』	北山湿地(岡崎)	西三河支部
8月2日(日)	9:30~12:00	『真夏の森で、感じよう自然を』	滝頭公園(田原市)	東三河支部
10月31日(土)	9:30~13:00	『森の恵みを楽しもう』	少年自然の家(春日井市)	尾張支部

2 研修会

日	時	テ ー マ	場 所	担 当
6月28日(日)	13:00~	『生物多様性について』	少年自然の家(春日井市)	尾張支部
8月30日(日)	8:30~16:00	『山地の植物』	竜吟の滝(岐阜県瑞浪市)	名古屋支部
9月5日(土)	9:30~	『布土川の生き物観察』	布土公民館(美浜町)	知多支部
9月5日(土)	9:00~	『磯の生き物の観察』	御前崎	東三河支部
指導員講習会の2週間前		9:30~ 『指導員講習会を前にして』	桑谷山荘	西三河支部
11月15日(日)			弁当山(岐阜県阿南町)	奥三河支部

3 その他

- ◆総会・講演会
 - 3月20日(金・祝)
 - なごやボランティア・NPO センター
- ◆理事会
 - 年4回開催予定
- ◆協議会ニュース
 - 年4回発行とし、必要が生じた時には臨時号を発行
- ◆ホームページ運営
 - 内容を更新しつつ運用継続
- ◆協議会の日 11月29日(日)
 - 新指導員の歓迎会と指導員の交流会
- ◆指導員講習会
 - 愛知県・NACS-Jにより10月頃開催される見込み
 - 協議会として開催に協力
 - 詳細については後日連絡
- ◆海上の森のハンドブック(春編)
 - 愛知県森林保全課の委託を受け作成

第4号議案 平成21年度予算(案)

収入

(単位:円)

科目	予算額	20年度	差し引き	備考
会費	705,000	1,070,000	▲ 365,000	会員360(うち家族10)名分 (@2,000*350+@500*10)
保険料	160,000	120,000	40,000	保険料(観察会徴収分:@40円×4,000人)
寄付金	1,000	1,000	0	
受託金	315,000	315,000	0	愛知県森林保全課「海上の森ハンドブック」
雑収入	4,436	7,026	▲ 2,590	冊子売却、利息等
前期繰越金	769,564	436,974	332,590	
合計	1,955,000	1,950,000	5,000	

支出

(単位:円)

科目	予算額	20年度	差し引き	備考
自然観察会費	210,000	300,000	△ 90,000	保険料(@40円×4,000人)、観察会運営関連等
調査費	20,000	70,000	△ 50,000	スクミリンゴガイ調査費等
研修費	100,000	100,000	0	講師謝金、会場費等
機関誌作成費	300,000	530,000	△ 230,000	発行回数6→4回/年 編集会議、印刷代、送料、封筒代等
受託事業費	315,000	315,000	0	愛知県森林保全課「海上の森ハンドブック」
事務費	295,000	325,000	△ 30,000	総会開催、理事会開催、ホームページ運営契費、生物多様性市民ネット会費、受託事業成果品印刷等
次期繰越金	715,000	310,000	405,000	
合計	1,955,000	1,950,000	5,000	

今年度より 協議会の会費を値下げいたします。3000円→2000円

■会の略称(愛称)について

総会で投票します。

候補 ★愛知県自然観察会 ★愛知(あいち)自然観察会
★愛知自然観察連絡会 ★NACS愛知(あいち)

息が確認できませんでした。貝類は独自の移動能力の低い種ですので、上流に向かって移動することが困難なのでしょう。

もしスクミリンゴガイを根絶するのであれば、上流部から徐々に駆除を実施することで、ある程度の効果を得られるのではないのでしょうか。

生き物の調査を行うことは、対象とする生き物に関心を持ち、生き物たちを理解することに繋がります。そして身の回りの自然環境の変化に敏感になります。私たち自然観察指導員にとって、地域で自然観察会を行うことも重要ですが、地域の自然を常にしっかりと見つめ、調べることはより重要なことだと思っています。

来年度は、調査事業はいったん中止しますが、それぞれの方がご自身のテーマを持ち、独自の調査事業を続けていただきたいと思います。

協力いただき、本当にありがとうございました。



スクミリンゴガイ卵塊

調査結果一覧

市町村	確認地点	未確認地点
名古屋市北区	1	
豊橋市	12	5
一宮市	21	
瀬戸市		11
半田市		5
春日井市		4
豊川市	6	
津島市	1	
碧南市	1	1
豊田市		6
安城市	3	8
西尾市	6	2
常滑市		6
江南市	6	2
小牧市	3	23
新城市		1
東海市	3	5
大府市		4
知多市	2	24
岩倉市	11	1
田原市	5	
北名古屋市	10	2
愛知郡長久手町		4
西春日井郡豊山町		1
丹羽郡大口町	20	3
知多郡阿久比町	1	4
知多郡東浦町	1	7
知多郡南知多町	0	17
知多郡美浜町	1	11
知多郡武豊町		2
幡豆郡一色町	11	8
宝飯郡小坂井町	2	1
愛知県内合計	127	168
各務ヶ原市	3	5
可児市		1

ニューカレドニアの自然を感じて（その2）

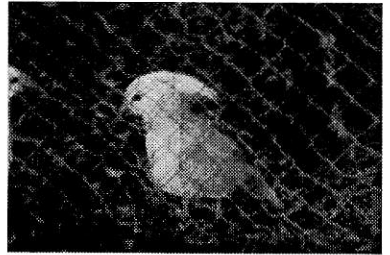
知多支部 吉川 洋行

スギ科に入るアロウカリアは全世界で20種ほどあるうち13種がニューカレドニアの固有種だそう。ナギにそっくりの葉をつけ、ナギモドキとも言われる巨木になるカウリの木、アガチスの仲間もいくつかの種が生えている。熱帯雨林の残るリビエール・ブルー州立自然公園にはアロウカリアやカウリ、枝分かれのないヤシの木そっくりな姿のパンダヌス、スゲのような葉をつけ5ミリ程度の幹を長く伸ばして木にからみついているツルアダン属の種など、タコノキ科の植物の分化(?)もおもしろい。太古の姿を残す神秘的な森ということで巨大なシダや不思議な姿のシダもたくさんある。ジュラ紀の姿(?)だと、イチョウ葉型のシダをガイドが強調していた。

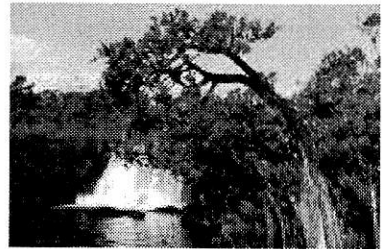
ここは森の中に散策道が整備されていて、保護されたカグーやノトゥー（ヤマバト）に会える。ここから30分ほどでマドレーヌの滝自然保護区がある。美しい滝と川辺の周辺には湿地帯が広がり、固有の動植物を説明するパネルが園内のあちらこちに設定されている。様々なアロウカリアやマオウ科の樹木が集められて植えられている。不思議だったのは一見細い棒のような幹にランのデンドロビウムに似た葉の付け方をしたドラコフィルムらしい木、ミズマキといわれる水につかった姿のナギに似た実をつける（写真ではマツのような姿の木、アロウカリアのような葉）レトロフィルム・ミノール。ニューカレドニア・モウセンゴケや地衣類のハナゴケなど、湿地帯特有の植物が多いのが特徴で見学時間が足りなかった。（ニューカレドニア観光局などのHPを参考。一部引用）



ナンヨウアロウカリアの枝



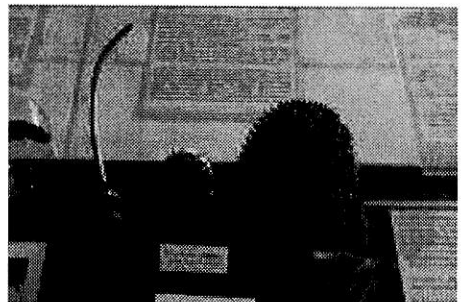
森林公園のカグー



マドレーヌの滝とレトロフィルム



リビエール・ブルー州立公園



アロウカリアの標本類

協議会の情報提供とメーリングリスト

尾張支部 齋竹 善行

☆メーリングリストとは

パソコンや携帯電話でインターネットが使える環境にある方は、eメール（以下「メール」）を利用されているかと思いますが、「メーリングリスト」（ML）をご存知ですか。指定されたアドレスにeメールを送信すると登録されているグループのメンバー全員にそのメールが届くもので、連絡や情報・意見交換に使われるものです。

最近では、インターネットのWebページやブログを巡って画像を含んだ情報の閲覧をすることが多くなりましたが、わざわざブラウザでサイトまで見に行かなくても、メールを送ってくれるMLは、Webとは違う便利さがあります。

☆自然観察メーリングリスト

私たち愛知県自然観察指導員連絡協議会の有志が「自然観察メーリングリスト」（自然観察 ML）を始めたのは2002年ですので、既に7年になります。

メンバーは協議会の会員限定で、イベントの案内、生物暦（野鳥や昆虫の初見・初鳴き、植物の開花・紅葉などの観察記録）情報の提供、観察した名前がわからない動植物の問合せ・回答、環境問題に関する意見交換などに使われています。自然観察MLに参加したい方は、次のアドレスに参加希望と書いたメールをお送りください。（shizenkansatsu-owner@egroups.co.jp）

現在、自然観察MLの登録メンバーは60数名ですが、その後アドレスを変えてメンバーから外れてしまった方（確認はできません）もいると思われるので、実質的には50名程度と推定され、協議会の会員約350名の10数%程度にすぎません。

☆メンバーが少ない原因

メールの利用者はかなりいるのにもかかわらず、メンバーが少ないのは、周知が十分でないことのみならず、アドレスを知られて迷惑メールなどが届くことを警戒したり、MLからたくさんのメールが届いても関心のない内容のものが多だろうし、開くのが面倒といった考えの方がいらっしゃるからでしょう。また、メールでのやりとりは時に表現がきつくなり、感情的な対立を生じることもあり、それがいやで辞める人もいられると思います。

こうした問題は、アドレスを公開することなく、協議会からの情報を一方的に送るだけのMLを自然観察MLとは別に設けることで回避できると考えられます。発言しなければ、アドレスは表示されませんので、メンバーが他の人のアドレスを知ることにはできませんし、一方的な連絡だけで意見交換をしないので、感情的な対立も生じないと思われます。（登録時に管理者にアドレスを知らせることが必要ですが、個人情報として厳重に管理すれば漏洩の可能性は少ないし、それでも心配なら無料のアドレスを取得して使うこともできます。）MLの運営には、無料のサービスを利用すれば経費はかかりません。

☆協議会の新たなメーリングリスト

今度の総会で議論されますが、協議会の会費値下げに伴い、協議会ニュースがこれまでの隔月発行から、原則年4回発行とし、必要が生じた場合には臨時に発行すると変更される予定です。協議会のWebページも作成され、行事案内などが載っていますが、協議会ニュースの補完にMLを活用することも考えられます。

新たに協議会の公式のMLを作って行事案内などを送ることについて、どう思われますか。ご意見をお聞かせください。ご意見は協議会ニュースの裏表紙下にURLが表示されている協議会のWebページからメールを送るか、編集部のアドレスまでお寄せください。

～東三河の野生哺乳類・その2～ フィールドサイン観察は面白い！

奥三河・東三河支部 神戸 敦

野生哺乳類の多くが夜行性のため、実際に観察することはなかなか困難です。しかし、彼らのフィールドサイン（生活痕）の観察は可能です。フィールドサイン観察は、動物の生活をあれこれと想像させてくれます。以下、数例をご紹介します。

◆巣



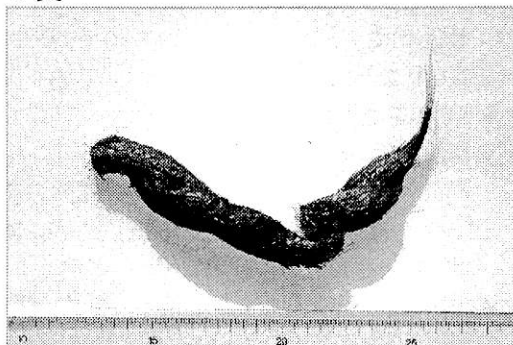
アナグマの巣です。鋭い爪でトンネルを掘り、巣の前にはかき出された多量の土がありました。夜になると近くの幼稚園へ出掛け、残飯をあさっていました。

◆食痕



ムササビがシイを食べたあとです。枝を噛み切るので、切り口が鋭角になっているのが特徴です。季節により食べ物が変わるのも記録したい事柄です。

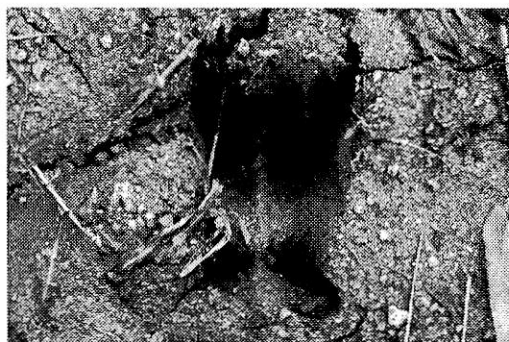
◆糞



キツネの糞です。毛が多く観られますが、イノシシの毛です。動物の糞は、植食性動物は○形、肉食性動物はソーセージ状、雑食性動物はヒトと同じ形と理解して観察すればよいと思いますが、フィールドで何の糞か？と問われると、迷うことがたびたびです。

◆足跡

イノシシの足跡です。副蹄がはっきり



とつくので、ニホンジカと区別ができます。しかし、この写真のように、田んぼでは区別しやすいですが、硬い土では？となります。東三河地方はイノシシが急増しており、ヌタ場・こすり木・ラッセル痕など容易に観察出来ます。

第6回理事会

日時：平成21年2月11日（水）13:30-17:00 場所：なごやボランティアNPOセンター
出席者：松尾、降幡、浅井、石田、近藤、齋竹、永田、布目、山田、滝田、樋口、三田、
小山、榊原、山下

議事

1 総会関連事項について

- (1) 平成21年度の「あいちの自然観察会」及び研修会の予定を確認した。

支部	あいちの自然観察会	研修会
名古屋	6/14 鶴舞公園 「樹木博士になろう」	8/30 瑞浪市竜吟の滝付近
尾張	10/31 春日井市 「森のめぐみを楽しもう」	6/28 春日井市築水池
知多	6/7 富具崎 「海辺の生き物」	9/5 美浜町布土川
西三河	7/11 北山湿地	秋 桑谷山荘付近
奥三河	5/9 茶臼山付近	11/15 阿南町弁当山
東三河	(支部から理事が出席していなかったので事務局で確認することとした。)	

- (2) 指導員講習会について、県の予算措置状況、実施時期等を確認することとした。
- (3) 21年度の理事会の開催のしかたについて検討した。会費を2000円にして収入が減ることから、回数・参加者を見直すこととし、理事会は総会時を含め3回にして、関係者で運営委員会と支部長会を開催することも議論されたが、理事会を4回（9/23、12/23、2/11、3/22）開催することとし、支部長会は開催せず、特別の課題については別途対応することとした。
- (4) 機関誌の発行について検討し、これまでの年6回から4回（5月、8月、12月、3月）に変更することとし、必要が生じた場合には臨時に発行することとした。
- (5) 名簿については、今年度、講習会後に新会員を加えて発行することとするが、個人情報印刷することになるので、作成前に住所や電話番号の表示の可否を確認する記事を協議会ニュースに掲載することとした。
- (6) 総会のタイムテーブルと当日の役割分担を確認した。
- (7) 空席になっている副会長について候補を検討したが、結論は持ち越しとなった。
- (8) 会の愛称・略称について、これまで出されていた10の案から役員・理事の投票で候補を4つ（愛知自然観察会、NACS愛知、愛知県自然観察会、愛知自然観察連絡会）に絞り、この中から総会で決めることとした。
- (9) 総会議案書案（1号 事業報告、2号 決算報告、4号 事業報告）について検討した。なお、予算案等については今日の理事会決定を踏まえて作成し、メールで照会して意見を聞くこととした。

2 生物多様性条約市民ネットワークへの加入について

このネットワークは、生物多様性条約の目的に賛同し、その目的の実現に向けて地球市民の立場から活動を行うもので、2011年3月末までの会費は、正会員（団体）1口2万円、サポーター会員（団体）1口1万円、サポーター会員（個人）1口5千円であるが、意見を反映させるため議決権のある正会員として加入することを了承した。

3 その他連絡事項

観察会担当から「あいちの自然観察会」について、20年度実績と21年度予定の集約をしたいので、各支部から連絡をするよう要望された。
(記録：齋竹)



行事予定



◆平成 21 年度通常総会・講演会

日時：3 月 20 日（祝日） 13:00～17:30

場所：なごやボランティア・NPO センター

◆理事会

日時：3 月 20 日（祝日） 10:00～12:00

場所：なごやボランティア・NPO センター

◆あいちの自然観察会

日時	場所	テーマ	集合場所	担当
5 月 9 日(土) 10:00-15:00	茶臼山高原	茶臼山高原の植生	リフト乗場 上の駐車場	奥三河：山田由乃 0536-32-2702
6 月 7 日(日) 9:30-14:00	美浜町 富具崎海岸	海辺の生き物観察	富具崎港	知多：森田博文 0569-87-0725
6 月 14 日(日) 10:00-12:00	昭和区 鶴舞公園	樹木博士になろう	グリーン プラザ前	名古屋：滝田久憲 052-782-2263

編 集 部 か ら

■協議会ニュースは会員の皆さんにさまざまな情報をお届けする媒体です。役員・事務局からの情報だけでなく、支部の取組みを紹介する「支部だより」や会員の自発的な情報発信のための「会員のページ」などを設けていますので、下記編集部まで積極的に情報をお寄せください。

■新年度になりました。協議会ニュースの編集・発送をお手伝いいただける会員を募集しています。新たなメンバーの参加で、フレッシュな紙面づくりができ、協議会の活性化が図れたらと思います。

編集スタッフ

岡田 雅子 近藤 記巳子

齋竹 善行 酒井 勇治

永田 孝 山口 健

発送スタッフ

岩沙 雅代 横井 邦子

協議会ニュース編集部
〒482-0007
岩倉市大山寺元町 12-3
齋竹 善行
メール：BZA03620.nifty.ne.jp

■愛知県自然観察指導員連絡協議会 事務局（当面）

〒486-0904 春日井市宮町3-6-2

松尾 初

Tel 0568-32-5069

■Web Page：<http://naichi.net/>

■郵便振替口座：00820-9-6546（名義：愛知県自然観察指導員連絡協議会）